

第17回

アディクション・フォーラム

in TOTTORI 2026

『人はなぜ依存症になるのか』

～精神病理の理解と回復への道すじ～

講師

こ ばやし

おう じ

小林 桜児氏

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター



2026 10/31 土

開場 9:15～

開始 10:00～16:30



午前 講演会 午後 分科会・体験発表

定員 250名

会場 ハワイアロハホール 湯梨浜町はわい長瀬584

(分科会／アロハホール各室・隣接公民館各室)

参加
無料

- 手話通訳・要約筆記あり(要申込:10月21日までに問い合わせ先にお申し込みください)
- 依存症でお悩みの方や家族のための相談が出来ます。受付で声かけください。(秘密厳守)

お問い合わせ 事務局 ☐ gfsa1121@yahoo.co.jp 鳥取県断酒会 080-5231-5434(森田)
鳥取ダルク 0857-72-1151

■主 催／鳥取アディクション連絡会

■後 援／鳥取県、鳥取県教育委員会、湯梨浜町、湯梨浜町教育委員会、岩美町、岩美町教育委員会
鳥取県立精神保健福祉センター、鳥取県精神保健福祉士会、(公社)鳥取県医師会、(公社)鳥取県中部医師会
(一社)鳥取県薬剤師会、(公社)鳥取県看護協会、(一社)日本精神科看護協会鳥取県支部
鳥取県保護司会連合会、鳥取県更生保護女性連盟、鳥取保護観察所

第17回 アディクション・フォーラム in TOTTORI 2026

依存症は病気です。誰でもかかる可能性がある病気です。放っておくと最悪、死に至ることも少なくありません。自分だけの力で依存症から抜け出そうとしても、この病気を克服することはとても困難です。依存症からの回復には支援が必要です。

・・・ご本人にも、ご家族にも・・・

ひとりで問題を抱え込まずに、理解してくれる人がいることを信じて、一歩踏み出してみませんか。そして、同じような経験をしてきた方の話をきいてみませんか。さまざまな体験にふれることで、生きる道しるべを見つけることができるかもしれません。

私たちは、ひとりでも多くの人に依存症問題を知っていただき、その苦しみが軽減されるようにと願っています。仲間と協力しながら依存症からの回復に取り組んでいる当事者・家族のメッセージをぜひお聞き下さい。

講師プロフィール

こ ばやし おう じ

小林 桜児氏

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター

「平成12年信州大卒。横浜市大病院で臨床研修後、NTT東日本伊豆病院精神科を経て、平成16年より、全国でも珍しい公立の依存症専門病院である神奈川県立精神医療センターせりがや病院に勤務。平成18～19年には覚醒剤依存症患者に対するワークブックを用いた集団療法(SMARPP)の開発にも従事。その後は同県立芹香(きんこう)病院にて精神科救急やストレスケア病棟を担当。平成21年より国立精神・神経医療研究センター病院に移り、医療観察法病棟と薬物依存症専門外来の診療に従事。平成25年から神奈川県立精神医療センターに戻り、依存症外来・病棟を担当。令和7年4月より同センター所長。主著に『人を信じられない病～信頼障害としてのアディクション～』、共訳に『愛着障害としてのアディクション』。他に『いわゆるパーソナリティ障害症例におけるアルコール・薬物問題をどのように認識し、対応するか』(精神医学第54巻)、「依存や自傷の臨床」(こころの科学216号)など多数。」

プログラム

- 10:00～ オープニング 来賓あいさつ(アロハホール)
- 10:15～ 講演 『人はなぜ依存症になるのか』
～精神病理の理解と回復への道すじ～
小林 桜児氏
- 11:45～ 分科会のインフォメーション
- 12:00～ ◇昼休憩◇
(昼食:ホワイエ各団体ブースをご利用ください)
(分科会会場へ移動)
- 13:00～ 分科会(アロハホール各室、隣接公民館各室)
各種依存症(アルコール、薬物、ギャンブルなど)
の当事者および家族の自助グループ、
当事者団体など
- 14:00～ ◇休憩◇
(アロハホールへ移動)
- 14:15～ 当事者、家族からのメッセージ(体験談)
- 16:10～ 質疑応答
- 16:30 閉 会

会場へのアクセス



■主な構成団体

NPO法人鳥取県断酒会、NPO法人鳥取ダルク、とっとり喫煙問題研究会、少年問題を考える鳥取の会
鳥取ダルクを見守る会、全国ギャンブル依存症家族の会 鳥取